

平成22年第3回羽村市議会（定例会） 一般質問通告項目一覧表

発言順	議席番号	議員氏名	質問項目	質問日
1人目	2番	大塚 あかね (60分)	<p><b>1. ワーク・ライフ・バランスの視点から男女共同参画社会の推進とワーク・ライフ・バランスの推進について伺う</b></p> <p>(1)「はむら男女共同参画推進プラン進捗状況報告書（平成20年度）」について</p> <p>①「女性に対するあらゆる暴力の撤廃」において、配偶者暴力対策基本計画の策定についてふれていないのはなぜか。</p> <p>②「市民と協働による市民講座の実施」について</p> <p>a、「男女共同参画の視点を盛り込む」とあるが、「子育て中のお母さん」に限定されている講座がある。見解を伺う。</p> <p>③「人権尊重の視点に立った教育活動の推進」について</p> <p>a、「人権教育」は教育全体においてどのような位置づけなのか。</p> <p>b、子供の人権を侵害する、子供に対する暴力や虐待を人権問題として、どのように位置づけているのか。</p> <p>④「女性リーダー養成講座」で具体的にどういう「リーダー」が養成されたのか。</p> <p>⑤今後の方向性と課題について伺う。</p> <p>a、セクシャル・マイノリティに対する取り組み</p> <p>b、「不育症」に関する啓発と理解、対応</p> <p>c、ニート同様の不就労で生活困難を抱える女性に関する取り組み</p> <p>d、学生に対するライフプランニング支援</p> <p>e、高齢男女の就業促進、能力開発、社会参画のための支援</p> <p>f、平成23年度以降の推進プランの策定について</p> <p>(2)市内事業者に対するワーク・ライフ・バランスの推進について</p> <p>①2011年に改正される次世代育成支援対策推進法について、市内事業者の取り組み状況はどのようになっているか。</p> <p>②国、都の支援、助成制度について、周知と活用実態について</p> <p>(3)市役所内における取り組み、推進について</p> <p>①2020年までに女性管理職をどの程度、増やす目標を持っているか。</p> <p>②管理職の方のワーク・ライフ・バランスはどのように図られているか。</p>	6月1日

2 人目

9 番

濱 中 俊 男  
(35 分)

- ③臨時職員の採用、審議会委員の登用に間接的年齢制限を行っていないか。
  - ④東京都生活文化スポーツ局の「ワーク・ライフ・バランス支援事業（区市町村）」に羽村市が掲載されていないが、理由があるのか。
- 2. 小中一貫教育について**
- (1)小中一貫教育の5つの教育課題の中で、教育長が考える、特に重点的に取り組むべき「課題」は何か。具体的にどのように進めていく考えか。
  - (2)教育委員会の支援について
    - ①小中一貫教育における情報発信として有効と思われる、学校ホームページの充実は図られるのか。
    - ②学区変更に伴い、生徒数が増えた学区の施設整備や人的補充は図られるのか。
    - ③その他、具体的に武蔵野小・三中への支援はどのように行われているのか。
  - (3)小中一貫教育の中で、E S D（持続可能な開発のための教育）を取り入れる考えはないか。

**1. 羽村市民の連携の醸成について**

- (1)町内会・自治会について
  - ①30年前から、5年ごとの、町内会・自治会全体での加入率の推移は。
  - ②加入率向上のため、市ではどのような努力をしているか。
- (2)羽村市の歴史についての教育について
  - ①市民向けにはどの様に行っているか。
  - ②子ども向けの教育は
- (3)歴史書発刊について
  - ①再度、「羽村市史」発刊の考えを伺う。
  - ②平成21年度第7回議会において、「とおめがね」について前向きに検討するとの事だが、その結果は。
- (4)孤立した家庭について
  - ①孤立させないような方策は考えているか。
- (5)郷土愛の醸成について
  - ①市民のアイデンティティを高めることを考えているか。
  - ②市民の連携の醸成について、どう考えているか。

6 月 1 日

**1. 「根がらみ前水田」の維持・保全について**

- (1) 現在、「根がらみ前水田」には、どのくらいの所有者がいるのか。また、水田の管理には、年間を通じて、どのような団体が関与しているのか。
- (2) 「根がらみ前水田」の水田面積は、この数年どのように推移しているのか。
- (3) 農業後継者問題は、全国的にクローズアップされている。「根がらみ前水田」も同じような問題を抱えていると思うが、市としてどのような対処、対応を考えているか。
- (4) 「根がらみ前水田」の用水路は組合で管理されていると聞くが、施設の老朽化など、維持管理に対して、市ではどのような支援を行なっているのか。また多摩川よりの取入れ口の確保に関して、国交省との協議が行われていると聞いているが、交渉の問題点はなにか。
- (5) 平成19年の台風9号は「根がらみ前水田」周辺に大きな被害をもたらしたが、用水路の管理、そして危険個所であると指摘されている堤防の築造など、市では今後どのように防災、安全対策を施していくのか。
- (6) チューリップ祭りを中心に、羽村が誇れる観光資源のひとつとして、さらに年間を通じた事業など充実させる必要があると思うがいかがか。また多くの関係者がチューリップの球根の管理に従事されている。ボランティア協力者のさらなる増員キャンペーンが必要と思うがいかがか。
- (7) 「根がらみ前水田」は、市民にとって大変付加価値の高い、貴重な財産であると考えている。第5次長期総合計画を見据え、これから市では、「根がらみ前水田」一帯の景観を継続維持し、保全していくために、水田土地所有者及び関係者、団体への支援を視野に、「(仮称) ”根がらみ前水田周辺” 環境保護・保全条例」を策定する考えはないか。

**2. 公立保育園民営化と待機児童解消に向けた対応について**

- (1) 公立保育園民営化は行財政改革の一環であり、早急なる実施が望まれている。民営化に向けて、その後、どのような状況にあるのか。具体化したガイドラインは今6月定例議会中に公表できるのか。
- (2) 公立保育園民営化により待機児童の解消は図れるのか。
- (3) 市は公立保育園民営化とともに、羽村市の子育て環境の総合的な支援を検討しているとしているが、具体的にはどのようなことを考えているのか。

4 人目

4 番

橋 本 弘 山  
(60 分)

### 3. 高齢化に伴う認知症予防・家族介護者への支援充実を

- (1) 高齢化が進むなか、身近に多くおきている現状をふまえ、地域、福祉力を活かしたネットワークづくり、支援体制は、どの様に展開されているか。また”認知症サポーター100万人キャラバン”への取り組み状況は。
- (2) 認知症の啓発・予防についてどのような具体策を実施しているか。
- (3) 認知症の進行状況に合わせた家族介護者への具体的支援は。
- (4) 徘徊等の重度の認知症の家族介護者に対し見守り、介護等への支援は、どの様に行っているか。
- (5) この事業を総合的に進めていく過程での主なる課題は何か。

### 1. 第五次羽村市長期総合計画策定に向けた取り組みについて

- (1) 長期総合計画の必要性をどのように考えているか。
- (2) 長期総合計画策定のプロセスは。
- (3) 第四次長期総合計画の検証は。
- (4) 過去の市政世論調査の結果が長期総合計画にどのように反映されたか。
- (5) 市政世論調査以外の市民意見の反映方法は何か。
- (6) 少子高齢化、人口減少、世界的な景気後退の影響を受けた市財政の悪化等の課題をどう対応していくのか。

### 2. 羽村市における契約制度について

- (1) 総合評価一般競争入札制度について
  - ①26 市の導入状況は。
  - ②昨年度に 1 件の工事についてこの制度が導入されたが、その分析は。
  - ③その結果、価格以外の評価項目についてどのように考えるか。
  - ④今年度に該当工事はあるのか。
  - ⑤「総合評価方式」の対象を拡大する予定はあるのか。
  - ⑥今後の総合評価方式の方向性は。
- (2) 市内事業者との契約について
  - ①平成 21 年度の指名競争入札参加登録業者の市内、市外の割合は。
  - ②羽村市における平成 20、21 年度の工事、委託、物品購入の随意契約と競争入札の割合は。

6 月 1 日

5人目

3番

西川 美佐保  
(60分)

- ③羽村市における平成20、21年度の工事、委託、物品購入の随意契約の金額段階別割合は。
- ④景気対策として市内事業者が受注しやすい小規模等随意契約希望事業者登録制度の検討を。

## 1. 「成人病予防対策」への効果的なシステム作りを

### (1) 特定健康診査について

平成21年度の検診対象者のうち、受診者は4,667名と約4割で、そのうち特定保健指導の対象者は423名と伺っているが、今後受診率アップをどのように図っていくのか、また今後の課題について伺う。

### (2) その他の健康診査について

前立腺がんのPSA値の測定や、C型肝炎、ピロリ菌検査は健康診査を受ける際、希望者の申し出により自己負担で血液検査が受けられることを検診通知等で周知してはどうか伺う。

### (3) 一般市民の「成人病予防対策」について

- ①「成人病予防対策」として、スポーツセンターやスイミングセンターの体育協会等と保健センターが連携し、課題別コースを立ち上げ、保健師や栄養士のアドバイスを含めたメニューを作り、予防対策を図ってはどうか伺う。
- ②市民の健康づくりと市内飲食店の活性化を兼ね、飲食店を対象とした栄養バランスの良い低カロリーメニュー作りを推進するため、希望する飲食店に、栄養士による相談を行ってはどうか。また「羽村逸品ものがたり」等で、女性向け低カロリーメニュー、カロリー成分表示をさらに推進してはどうか伺う。
- ③高齢者に対する、肺炎、インフルエンザ、低栄養予防の「口腔ケア」の推進を図ってはどうか。
- ④脳卒中は、3時間以内の脳血栓溶解薬（t-PA）の点滴投与により、血管内の血栓を溶かし、血流を早期に回復することで、脳へのダメージを防ぐ画期的治療法であるとともに、保険適用であることの周知を市民に図ってはどうか。

6月1日

## 2. 高齢者や障がい者等にやさしいまちづくりについて

### (1) 道路・公園・公共施設の整備について

- ① 「羽村市交通バリアフリー基本構想」は22年度までに移動円滑化を実施することになっているが、現状どこまで進み、いつ頃完成の予定か。また平成18年6月に新バリアフリー法が成立しているが、新法の影響と今後の整備計画をどのように進めていくのか伺う。
- ② 公園にユニバーサルデザイン等の健康遊具をさらに増やし、子ども達が遊んでいるなか、大人も見守りができるような、世代間交流を可能とする公園づくりをめざしてはどうか伺う。
- ③ 駅や公共施設、病院等への道を通れば、段差のない道で行けるのか分かるよう、市内「バリアフリー・マップ」を作成してはどうか伺う。
- ④ 市役所等公共施設の駐車場に一定の障がいのある方（ハートプラスマーク）や妊婦の方のマタニティマークの設置を検討することであったが、その検討結果はどうなったのか伺う。

### (2) 視覚障がい者への対応について

情報バリアフリー化の市の取り組み現状について伺う。

### (3) 市役所の連絡所の機能充実について

市には、小作台連絡所、羽村駅西口連絡所、三矢会館連絡所があるが、さらなる市民の利便性を図るため、総合的に相談できる窓口の充実や、機能充実を図ってはどうか伺う。

## 3. 「脳脊髄液減少症」について

(1) スポーツ外傷等を受けた児童生徒の状態変化についての実態把握はされているのか伺う。

(2) 教職員・養護教諭・カウンセラー・保健主事など関係者の研修はされたのか伺う。

(3) 小中学校の保護者への周知を図るため、保健だよりを活用してはどうか伺う。また公共施設などにチラシを置いたり、ホームページや広報で市民への周知をしてはどうか伺う。

(4) 保健センターなどに相談窓口を設置してはどうか伺う。

**1. 学校教育の充実について**

## (1) 少人数学級の推進について

- ① 35 人以上の学級数はいくつ？ 38 人以上のクラス数はそれぞれどうか。
- ② 小・中 1 への都の教員加配制度（今年度 39 人学級）は、規模とスピードを上げての拡充が必要と考えるが、どうか。都への要望はなされているか。
- ③ 羽村市が都の加配制度を 1 年先取り（38 人学級）で実施した場合、今年度は何クラス増え、必要な予算はいくらだったか。
- ④ ③の質問のように、羽村市独自の少人数学級制度をすすめるべきと考えるがどうか。

## (2) 就学援助制度について

- ① 新入学制服代、卒業アルバム代、クラブ活動（部活動）、生徒会費、PTA 会費を就学援助の対象とすべきと考えるがどうか。

## (3) 通級指導学級について

- ① 通級指導学級へ通う子どもの数はどうなっているか。これまでの推移はどうか。
- ② 通級指導学級へ通う子どもの割合が学校によって大きく差がある。これをどう分析しているか。通級指導を希望しているが、受けられていない子どもはいないか。
- ③ タクシーによる登下校補助金制度を「必要な指導が受けられる条件整備」としておこなうべきではないか。
- ④ 通級指導学級の増設が必要だと考えるがどうか。

**2. 通学路の安全対策について**

(1) 羽村三中前から瑞穂境の新たな住宅地から多くの子どもが通学している。学校側歩道の延伸、カーブミラーの設置、新たな横断歩道への信号機設置などの安全対策が必要だと考えるがどうか。

(2) 東児童館横交差点に信号機設置などの安全対策が必要だと考えるがどうか。

**3. 国民健康保険の資格証発行が、市民の命、健康をおびやかすことのないように**

(1) 国民健康保険資格証の発行状況はどうなっているか。

(2) 羽村市での国民健康保険証を資格証に切りかえる基準はどうなっているか。

(3) 資格証で医療機関にかかり、窓口で 10 割を支払ったケースは過去 5 年間で何件あるか。一般の受診率と比べてどう違うと認識しているか。

7人目

14番

露 木 諒 一  
(60分)

- (4) 国保法第9条、同法施行令第1条第2号では、資格証を交付された人に対し、「世帯主又はその者と生計を一にする親族が病気にかかり、又は負傷」したときは「その世帯に属するすべての被保険者に係る被保険者証を交付する」となっている。こうした法の規定を資格証を発行された被保険者に知らせているか。
- (5) 資格証に「病気及び負傷等の特別な事情が生じた時は速やかに申し出てください」など、前項の規定を知らせる文書を記載すべきではないか。

### 1. 高齢者対策について

#### (1) 介護予防リーダー育成事業について

- ① 要支援・要介護に移行するリスクの高い「特定高齢者」の人数と実際に介護予防事業に参加した人数を平成18年度より今年度まで何う。
- ② 元気な高齢者を増やすために、介護予防リーダー育成事業を「一般公募」と「老人クラブ」等から応募して、平成18年度より実施しているが、その推移と今後の方向について何う。
- ③ 介護リーダー育成事業を終了した方々が高齢者の介護予防のために、立ち上げたボランティアグループ「グーパー健康教室」が年々発展しているが、より広い会場を確保すべきと考えるがどうか。
- ④ 地域の会館や健康遊具を設置している公園等で「介護予防リーダー」が健康づくり等を指導実施してゆくことは大事と考える。各地域の「老人クラブ」から介護リーダーの研修を受けているが、今後の自主グループの活用と方向性について。

#### (2) 1人暮らしの高齢者対策について

- ① 毎年、民生委員にお願いし1人暮らしの70歳以上の高齢者世帯に対し、実態調査をしているが、その実情と対策は。
- ② 一人暮らしの高齢者の緊急時の連絡先や掛かりつけの病院等を記入し、民生委員や包括支援センターなどが共用し、緊急事態に備える「緊急連絡カード」を推進してはどうか。
- ③ 1人暮らしの高齢者も大きく増加している。安全確認、孤独感の解消、見守り等大事である。民生委員、友愛訪問員、小地域ネットワーク、包括支援センター等との連携について何う。

6月2日



④今まで経験したことのない超高齢社会が到来してきている。地域で支える協働型社会のきめ細やかな仕組みづくりが大事である。市の対策は。

(3) 高齢者住宅について

①民間から借り上げている富士見平高齢者住宅「ボナール羽村」は高齢者住宅と名称があるが、バリアフリーにはなっていない。このまま、契約時まで改装しないのか。

②羽村市のUR都市機構は高齢者有料賃貸住宅の空き室になった1階をバリアフリーにして、高齢者対応にしている。羽村市もバリアフリーの整備をされた、民間借り上げ住宅を新たに検討する考えはないか。

③政府は4月26日の事業仕分けで都市再生機構(UR)の賃貸住宅事業を縮減する方向で結論付け、「高齢者、低所得者向け住宅の供給は自治体または国に移行」と結論付けた。行政に移行した場合、現在の市営住宅との問題や、URの11兆円の負債を地方自治体が担うことになる。羽村市の考えは。

**2. 保育の総点検を実施して**

(1) 東京市町村自治調査会の調査によると多摩26市では過去2年間で「待機児童」の数が約5割も増加していることが分かった。当市の4月現在の「0歳、1歳、2歳、3歳の「待機児童」は何人か。

(2) 0歳、1歳、2歳の低年齢児の待機児童の解消策について伺う。

(3) 待機児童の中には、認可外保育所の保育料が高くて入所できない児童もいる。経済状況の悪化で働きに出る専業主婦が増えているが、市の対策は。

(4) 言葉の遅れや、落ち着きがなかったり、周囲の子どもと少し違う、気になる児童がかなり多くなっているとの声があるが、羽村市の軽度も含め、発達障害者の現状をどのように把握しているか。

(5) ぜん息やアトピー性皮膚炎、食物アレルギー、花粉症などに苦しむ人は、国民の3分の1を超えている。保育所児童のアレルギーの対策は。

8人目

18番

中原雅之  
(60分)

### 1. 「地域主権改革」について

- (1) 政府がすすめるようとしている「地域主権改革」についての市長の見解はどうか。また、羽村市政への影響についてどう考えているか。
- (2) この問題について、市として、政府に働きかける考えはないか。
- (3) 羽村市が地方交付税交付団体になる可能性はあるのか。
- (4) 行財政が厳しくなる中で、市民の暮らしを守りながらも、行政の大幅な見直しが必要と思われる。日本共産党は、羽村駅西口区画整理の一時ストップ、行政連絡員制度や商工会補助金の見直しなどを提言してきたが、羽村市の今後の財政運営についてどのように考えているか。

### 2. 受動喫煙防止対策の推進を

- (1) 千葉県柏市では、5月31日から、450の公園を含めた市有の公共施設589か所の敷地内を全面禁煙にすること。羽村市も全面禁煙を実施してはどうか。
- (2) 羽村駅前、小作駅前を中心に、路上禁煙を実施してはどうか。
- (3) 市役所内の喫煙室をなくすべきではないか。特に一般市民がたくさん訪れる1階の自動販売機前の喫煙室は撤去し、そこに授乳室や乳幼児の遊び場を設置してはどうか。

6月2日

9人目

8番

石居尚郎  
(60分)

### 1. 羽村のグランドデザインを問う

- ～長期総合計画と生涯学習基本計画について～
- (1) 現段階において、第四次長期総合計画をどう総括しているか。
  - (2) 行政として、急激に変化する時代にどう対応していくかが問われている。そこで、激変する時代に耐えうる長期総合計画にするために、どのような作成プランを検討しているか。
  - (3) 現在の基本理念は、「自立と連携」である。今後とも、人と人との結びつき、共生という理念が重要と考える。第五次長期総合計画の柱となる基本理念については、羽村市としてはどのような考えのもとで進めていこうとしているか。
  - (4) 第五次長期総合計画の基本理念を踏まえて、生涯学習基本計画をどう進めようと考えているか。

6月2日

10 人目

16 番

市 川 英 子  
(60 分)

(5) 2 つの計画を検討していく上で、かなりの部分で重複していくことが予想される。長期総合計画と生涯学習基本計画とその関係性についてどのように考えているか。

(6) 義務教育課程である学校教育について、羽村の将来像をどのように描いているのか。

## 2. 羽村市の成長戦略について問う

(1) 羽村市の成長戦略についてのプランがあれば、その概要について市の考えを聞く。

(2) コミュニティビジネスの今後の展開について聞く。

(3) 新たなビジネス分野としてどのようなものが羽村市にふさわしいと考えるか。

(4) 昨年 12 月議会で「羽村に特化した観光振興を」と提案をし、早急に対応すべきではないかとの質問をした。その後どのように進展させたのか。

(5) ソーシャルビジネス推進についての市の考えを聞く。

## 3. 高齢者の「買い物難民」について

(1) 買い物難民に対する羽村市の認識を問う。

(2) 買い物難民解消に向けての対策は。

## 1. 市民へくらしの支援を

(1) 国民健康保険に加入している市民は、東京都国民健康保険団体連合会が温泉施設の割引利用券を配布しているが、国保に加入できない後期高齢者のみなさんはその対象ならない。そのため他の市では、市独自の施策として、対象外の高齢者にも温泉施設の割引券の配布をおこなっている。羽村市も実施すべきと思うが市の考えを伺う。

(2) 青梅市では、市が指定した保養施設を利用すると利用額の一部を助成している。また、福生市では、国保加入者が全国の公営宿泊施設を利用した場合、宿泊費の助成を行っている。羽村市でも実施すべきと思うが市の考えを伺う。

(3) 配食サービスの 1 食当たりの費用が高い。最近の市内スーパー等の弁当の値段は下がっている。高齢者の年金は増えることはなく、個人負担が増えているため生活の質は下がっている。そのため他の自治体では工夫をし、1 食の費用を下げている。羽村市でも考えてはどうか。

6 月 2 日

11 人目

15 番

門 間 淑 子  
(60 分)

## 2. 小学生の放課後対策について

### (1) 学童クラブについて

- ①正職員を各学童クラブに1人は配置せよ。
- ②障害児への対応拡大を。
- ③指導員は子どもが来所する何時間前に来るのか。
- ④子どもは午後6時までだが指導員は何時までの勤務か。
- ⑤平成22年5月1日現在、富士見学童は定員69人のところ、80人が入所している。指導員は常時何人いるのか。
- ⑥武蔵野第二学童に放送設備の設置をすべきでは。
- ⑦指導員の配置条件により常時2名の指導員がいる学童(定員48名以下)にもプラス1の指導員が配置され3名で指導にあたっているのか。
- ⑧小作台第2学童の庭は狭い。すぐ隣にある市有地を開放すべきでは。

(2) 次世代育成支援行動計画後期行動計画にある「放課後子ども教室」は平成26年度に全小学校の7か所に設置とあるが、どのような考えで進めていくのか具体的に伺う。

## 3. 三鷹市が今年度から実施している「公募委員候補者の募集を、無作為抽出」を羽村市でも検討せよ。

(1) 三鷹市が実施している「公募委員候補者の募集を無作為選出」を羽村市でも検討せよ。

## 1. 核兵器廃絶に向けて、平和市長会議への参加を

- (1) 平和市長会議への参加について、昨年9月議会で提案した。「参加の方向を希求している」と答弁されたが、参加について、再度見解を伺う。
- (2) 「ヒロシマ・ナガサキ議定書」に賛同する都市アピールへの署名自治体になってはどうか。

## 2. 平成22年国勢調査について

- (1) 原則「封入り」提出となり、東京は、郵送・調査員による回収に加え、インターネットによる回収も選択できる。周知方法について伺う。
- (2) インターネットによる回収は、具体的にどのように進められるのか。
- (3) 調査期間中、連絡所も含めて、わかりやすい場所に直接提出窓口を設置してはどうか。

6月3日

12 人目

7 番

馳 平 耕 三  
(60 分)

(4) 前回調査では、他地域で調査票が奪われるなどの事例が報告された。夜の訪問調査も余儀なくされるが、調査員の安全保障はどのように考えているか。

(5) 指導員は何名か、どのように選ぶのか。

### 3. 第五次長期総合計画策定について

(1) 実施計画では、基礎調査・原案作成・審議会設置・パブリックコメントが予定されているが、策定までの具体的な日程を問う。

(2) 市政世論調査が予定され、回答率を 75% としているが、どのようにして達成するのか。

(3) 計画期間を何年と定めるのか。

(4) 計画人口を何人と定めるのか。

(5) 計画期間の施策を裏付ける財政計画は提出されるのか。

### 1. 新学習指導要領に伴う、授業時数・学習内容の大幅な増加にどう対応するか。

(1) 新学習指導要領の改定案で、小学校・中学校の授業時数は、各学年で週何コマ増えるか。

(2) 完全実施となった場合、内容の消化にどう対応していく考えか。また、「学び残し」には、どのように対応していく考えか。

(3) 「新学習指導要領に係る補助教材」を各学校で、具体的にどう使い、どう対応しているか調査しているか。

(4) 学校で授業時数が増え、学習内容が増加すると、子どもたちの学力は向上するのか。

### 2. 水曜ノーカーデーを、より市民・市内企業に広めよう。

(1) 水曜ノーカーデーは、どういう理念のもとに、どういう経緯で設定されたか。

(2) 水曜ノーカーデーは、これまでどう広報してきたか。

(3) 実際、水曜日に市内を走る自動車の数が減っていることを示すデータはあるか。

(4) 自転車対策について

① 来庁者の自転車置き場は少なくないか。雨のあたらない駐輪場設置の考えはないか。

② 羽村駅・小作駅の自転車駐輪場について改善策を考えているか。

③ 自転車専用レーンについて、新たに具体的に取り組む考えは無いか。

(5) 地球温暖化対策の観点から目標数値を定めて、水曜ノーカーデーをさらにすすめる考えはないか。

6 月 3 日

13 人目

12 番

中 根 康 雄  
(60 分)

- 3. 「新しい公共」について市長はどう考えるか。**
- (1) 「新しい公共」円卓会議の取りくみについて、市長はどう考えているか。
  - (2) 常設型の住民投票条例について、市長はその長所・短所をどう考えているか。
  - (3) 市長は、コミュニティ・ファンドについてどう考えているか。

**1. 大災害時のライフライン確保について**

- (1) 現存する市営上下水道・雨水管の耐用年数と耐震化率は。
- (2) 水道管等のつなぎ目診断は実施したか。
- (3) 耐震性防火貯水槽の設置数と設置率は。
- (4) 汚水の上水への変換機は用意されているか。

**2. 「赤ちゃんの駅」設置について**

- (1) 市有施設に設置する考えはないか。
- (2) 市有施設以外に市内商業施設に設置を呼びかける考えはないか。

**3. 西口換地設計見直し案提示について**

- (1) 換地設計見直し案はいつ権利者に提示されるのか、具体的日程を示せ。
- (2) 22 年度事務事業予定地の関係権利者との進捗状況は。
- (3) 見直し箇所は何箇所かで現在の進行状況は如何に。
- (4) 個人に係る以外の道路・公園等変更予定箇所も公開できないのか。
- (5) 墓地跡地と換地の重なりは完全に解消できるのか。
- (6) 見直し案作成の費用はどうなっているのか。

6 月 3 日

14 人目

11 番

水 野 義 裕  
(60 分)

**1. 羽村市が関係する様々なセンターのあり方は**

- (1) センターの現状について
  - ① どれだけのセンターがあるか。
  - ② それぞれの運営形態はどうなっているか。
  - ③ 活動実績をどのように把握し評価しているか。
  - ④ 活動内容の重複はないか。
  - ⑤ 要員の雇用ルールはどうなっているか。
- (2) 今後のあり方について
  - ① 活動内容を精査し、設置目的に沿って似通ったものは統合して効率化を図るべきではないか。

6 月 3 日

②委託しているものについて、要員の雇用ルールなどは公表し、市と同様にすべきではないか。

## 2. 羽村駅西口広場について

### (1) 工事の見通しについて

- ①小作寄り部分の完成は何時頃になるか。
- ②完成予想図を掲出してはどうか。

### (2) 空間の有効活用について

- ①現在使われていない空間を一時的に駐車場などに活用すべきではないか。
- ②迎えの車などで混雑している。現在の道路部分を拡幅する必要があると考えるがいかがか。

## 3. 小中学校の教員体制について

### (1) 教員の経験について

- ①市の教員の平均経験年数は何年か、学校で短いのはどこで何年、長いのはどこで何年か。
- ②新規採用教員は何人か、多いのはどこで何人か、少ないのはどこで何人か。
- ③経験5年未満は何人か、多いのはどこで何人か、少ないのはどこで何人か。
- ④退職・転出などによる欠員の補充方針は校長が決めるのか。
- ⑤新規採用教員が多いところへはどんな支援をしているか。

### (2) 様々な支援要員について

- ①非常勤教員の配置基準はどんなものか。
- ②講師の配置基準はどんなものか、また非常勤教員との違いは。
- ③地域人材教師とは。
- ④主任軽減講師とはどんなものか。
- ⑤新人育成担当として教諭が配置されている学校があるが、その配置基準は。
- ⑥教師養成塾という要員がいるが何か。
- ⑦理科の専科、嘱託教職員研修センター、学習補助員などの役割は何か、また配置されていないところもあるがなぜか。
- ⑧司書は各学校に配置されているか。
- ⑨ここに挙げた要員の費用負担はどうなっているか。

15 人目

5 番

山 崎 陽 一  
(60 分)

## 1. 区画整理撤回要求 第13弾

(1) 区画整理事業が市財政に与える長期的影響を聞く。

(2) 今後、換地設計案が出ても反対地権者が多く、賛同は得られない。前議会答弁で、理解を得られないのは9%、と聞こえたが真意を聞く。

6 月 3 日

(3) 区画整理の進め方が問題だ。

- ① 審議会議事録仕上がりは 2 か月後との答弁があった。第 6 回、2 月 22 日以降の議事録は出来ているか。
- ② 宅盤高 CG は 2 月にでき、早い機会に公表とのことだったがいつか。
- ③ 市は減歩相当分以上の土地を買い続けているが、使用目的を聞く。
- ④ 区画整理地域内の埋蔵文化財と、その上にある世帯数は。
- ⑤ 埋蔵文化財地区に建設するときの手続きや費用負担はどうなるか。
- ⑥ 土地利用の制約を受けると考えるが土地評価基準に反映されているか。
- ⑦ 先行取得地での遺跡発掘調査はどのように考えるか。

## 2. 環境基本条例と公共事業の関連を聞く

(1) 羽村市環境基本条例における公共事業の位置づけを聞く。

- ① 東京都地球温暖化対策計画制度では、エネルギーの使用量が原油換算で 1500 キロリットル以上の事業体に削減計画の作成協力を求めているが、市が協力する考えはないか。
- ② 環境基本条例では、市の施策の策定、実施に対し環境負荷の低減など、環境基本計画との整合性を求めている。膨大な環境負荷を与える区画整理事業が基本計画に記述されていないのはなぜか。
- ③ 区画整理事業による廃棄物、建設搬入資材の総量を問う。
- ④ 事業に係わる重機、車両などの台数を聞く。
- ⑤ 廃棄物の処分地と、運搬経路、距離数はどのくらいか。
- ⑥ 区画整理による CO2 排出量はどのくらいと考えるか。
- ⑦ 先導的都市環境形成総合支援事業補助対象にどんな事業を考えているか。